

令和5年度 厚生労働省保健福祉調査研究受託事業 災害福祉支援ネットワーク中央センター全国研修

県庁本部での支援活動について

千葉県健康福祉部健康福祉指導課 中田 寛之

構成

1 派遣までの取組み

2 本部活動について

3 本部活動を終えて

1-1. 派遣までの取組み(千葉県DWATについて)

チーム員数

407名(令和5年12月末時点)

これまでの取組

※ 派遣実績なし

- ・ 千葉県社会福祉協議会、各福祉関係団体と「千葉県災害福祉支援チームの派遣に関する基本協定」締結(R2.7)
- ・ 九都県市合同防災訓練への参加(R4年度～)
- ・ 市町村防災・福祉部局への個別訪問による周知広報(R4年度～)
- ・ チーム員参集・安否確認のための一斉通報システム導入(R5年度)

(参考) 一斉通報システム回答画面、集計画面

氏名
中田 寛之

第10班（4月1日出発～4月6日帰着）の派遣に参加できますか。*

可能

不可

第11班（4月4日出発～4月10日帰着）の派遣に参加できますか。*

可能

不可

第12班（4月8日出発～4月14日帰着）の派遣に参加できますか。*

可能

不可



1-2. 派遣までの取組み（災害発生後の初動体制～）

1月上旬～中旬

- ・ 情報収集（近隣県DWAT担当者との連絡等）
- ・ 千葉県DWAT本部の設置（1月11日）

1月中旬

- ・ チーム員に対する派遣可否事前アンケート（1月12日）
- ・ 宿泊先レンタカーの確保（県社協）

1月下旬

- ・ 中央センターからの派遣依頼（1月18日）
- ・ 千葉県DWAT第1班派遣（1月21日～1月27日）

1-3. 派遣までの取組み(第1班 構成メンバー)

	氏名	職名	保有資格	法人名	施設名	専門
活動日 R6.1.22 ～ 1.26		施設長	社会福祉士			障害
		介護支援専門員	作業療法士			高齢・その他
		介護支援専門員	介護福祉士 介護支援専門員			高齢
		生活相談員	社会福祉士			高齢
		PT	理学療法士			障害

※ 事務局員（県職員）1名も同行

2-1. 本部活動について(初日(出発日))

本部配置の経緯

1月21日(出発日)当日の朝、DWAT調整本部より、本部配置となる旨連絡あり。

チーム員の反応

「被災者のためになることであれば、何でもやりたい。」

初日の動き

午前11時前 千葉県社協 出発

午後5時頃 石川県庁DWAT本部到着、支援状況等概要説明受け

2-2. 本部活動について(活動当初のイメージ)



本部運営
(全社協職員)



本部活動の記録
(チーム員)



現地活動の把握
(チーム員)
→ 情報収集チームへ



他チーム等の情報収集、分析(会議参加)
(チーム員)



各都道府県との
連絡調整
(チーム員)

(参考) 本部活動時の様子



1/22 現地本部 役割分担	
(本部長)	全社協(東京) 鈴木 部長
副本部長	大元 総協 ロジ 福野
ロジ班	蓮子(ハシ)
情報分析班 070-1368-7107	井上 千葉
記録班 070-1368-7108	境野(サカイ) 千葉
連絡調整班 070-1368-7105	白井 千葉
現地支援班 070-1368-7110	勝又 千葉
アドバイザー	宮村 ~1/22
県庁	瀧本

2 - 3. 本部活動について(課題)

千葉県DWATが入ったときの課題

- ・ (千葉DWATを除くと) 本部員が少ない(多くて2~3名)
- ・ どこで、誰が活動しているか把握しきれていない
- ・ 各避難所との意思疎通がとれていない
- ・ チーム員が本部で何をしたいかわからない
- ・ 各チームへの連絡先も知らない

2-4. 本部活動について(情報収集チームとしての活動)

情報収集チームとなるまで

- ・ 活動初日～2日目 何をやっていいかわからず、時間を持て余すこともあった。
- ・ 個々のスキル、専門性を生かせていなかった。
- ・ 積極的に七尾市、志賀町の各避難所を訪ねて各地のチーム員から情報収集
→各避難所のDWATチーム員から親切な対応、情報提供受け

情報収集チームとして

- ・ 収集した情報の本部への報告
- ・ 地域で実施される会議への参加(七尾市)
- ・ 課題への対処(和倉小への活動展開等)

(参考) 本部へ携行してよかったもの(チラシ)

千葉県災害福祉支援チーム Disaster Welfare Assistance Team 通称 DWAT です! (ディーワット)

DWATってどんなことをするの?



- ① 避難所での福祉なんでも相談
- ② 避難所でのお困りごと調査
- ③ 相談に応じた関係機関への仲介
- ④ 介護支援が必要な方への対応
- ⑤ 避難所の環境整備

誰もが安心して過ごせるよう、現地の皆さんに寄り添った支援をします!

平常時は研修や訓練で、災害時に備えています!

千葉県DWAT派遣の流れ



チームにはこのような人がいます!

県と協定を結んだ福祉関係団体に所属する個人会員や、会員施設から推薦を受けて登録された社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員(ケアマネジャー)等で構成されています。

* DWATの活動例 *



★千葉県DWAT事務局★

千葉県 健康福祉部健康福祉指導課 法人指導班
☎043-223-2351

千葉県社会福祉協議会 福祉サービス事業部
☎043-245-2940



千葉県DWAT事業の
ホームページです!
ぜひご覧ください

2022年3月版

他職種チームからDWATの説明について求められた際に渡した。

3-1. 本部活動を終えて(感想等①)

派遣前に感じていたこと

- ・ 石川県DWAT本部から各都道府県に情報共有してほしい。
- ・ 今後の派遣計画を先に立ててほしい。(派遣場所等)
→ **中央センターに対する不信感があった。**

派遣後に感じたこと①

難しい、大変だと感じた(想像した)業務

- ・ 情報共有業務(情報の収集、継続性を踏まえた資料作成)
- ・ ロジ業務(記録、報告には時間がかかり、活動しながらのロジは難しい)
- ・ 本部設置業務
(会議室確保、パソコン、携帯電話、事務用品、緊急通行車両証明等の用意)
→ **中央センターを支援する役割(本部支援員)は重要と感じた。**

3-2. 本部活動を終えて(感想等②)

派遣後に感じたこと②

- ・ 中央センター職員、石川県庁職員と一緒に活動することで、距離感がなくなり、自分たちが石川県DWATチームの一員として活動しているという意識を持てた。
 - 2月の輪島先遣活動の際、高岡市からの道路状況や中央センター手配の宿を利用したに使用できる風呂、トイレなどの情報を中央センターに提供した。

各都道府県DWAT事務局員、チーム員全員が、石川県DWATチームの一員であると考えられるようになった。(県担当者所感)

3-3. 本部活動を終えて(感想等③)

事務作業に関して

- ・ 各都道府県からのシフト表の提出は締切日よりも早いほうが本部業務は捗る。
- ・ 定まった人数での長い帯での派遣はシフトが組みやすい。

(参考) 事務局員同行のメリット

- ・ 中央センターからの要望に対する回答が早い
→本部業務を第2班以降も続けてほしいという要望に即答できた。
- ・ チーム員を制する必要がある場合の対処
→もっと広く避難所を訪問して情報収集したいという千葉県DWATチーム員の進言に対して石川県DWAT本部が止めたほうが良いと判断し、千葉県事務局員からチームへ説明した。

3 - 4. 本部活動を終えて(今後の千葉県DWATの運営に生かすこと)

ロジ業務の簡素化

- ・ 千葉県への報告、避難所ごとの活動報告、地域リーダーや避難所内住民会議等への報告など、報告関係が多いため県への報告書類関係は簡素化したい。

ロジ要員の育成

- ・ 研修、訓練において、ロジ要員(チームロジ・本部ロジ)の育成、強化

若いチーム員の育成

- ・ 今後、長期間チーム員として活動してくれる若い世代をより多く派遣し、経験を積んでもらう。(チーム員からのフィードバックによるもの)

おわりに

今回の千葉県DWATの初派遣、活動に当たっては、各避難所で活動していた先輩チーム員の方々が親切に対応くださり、たくさんの協力をいただきました。

また事務局（県職員）としても派遣準備の段階から、他都道府県から派遣に必要な物品のリストの提供を受けたり、支払関係で御教示いただくなど、助けてもらうことばかりでした。

千葉県から派遣したチーム員45名、結果として派遣にならなかったチーム員、及びチーム員の所属する各法人・施設、各福祉団体のみなさまの御協力のおかげで派遣することができました。

本当にありがとうございました。

まだ支援は続いておりますので、今後もよろしく願います。